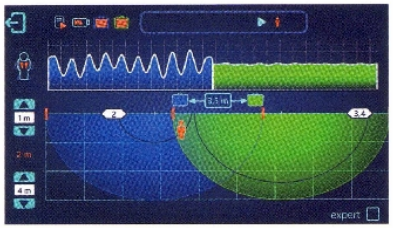
人命探査装置

「レスキューレーダー」シリーズ



「レスキューレーダー」シリーズの「LS-RR04M」（写真奥）と「LS-RR04F」（写真手前）。LS-RR04Fは開発中の製品で重量を4kgとし、LS-RR04Mよりも約2kgの軽量化を図った。



パソコンで専用ソフトウェアを起動することで、「レスキューレーダー」の検索結果を表示できる。体の動きはレーダーから30m、呼吸の反応は同10mで検知可能。

「レスキューレーダー」シリーズは、電磁波を利用して生き埋めとなった被災者を検索できる装置。土砂崩れや雪崩、崩落した建物内などにいる生存者のわずかな体の動きや呼吸の反応を検知できる。検知した生存者の反応は、同品とWi-Fiで接続したパソコンやタブレットなどの画面に同品からの距離とともに表示される。同品は2台をセットで使用し、反応があった距離の交点が分かるため、生存者の位置特定につながる。

埋没した被災者の位置特定
生存者の生命反応を検知

地震などの災害発生時に、ガレキなどの中に生き埋めになった被災者を検知する機器を提案しているのがライフセンサーだ。容易に持ち運びが可能で、短時間で生存者の検出を可能にする製品を紹介しよう。

株式会社ライフセンサー
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-7-11
AIOS五反田アネックス704号室
TEL：03-5449-2337　FAX：03-5449-2337
E-mail：info@lifesensor.co.jp
URL：http://www.lifesensor.co.jp/

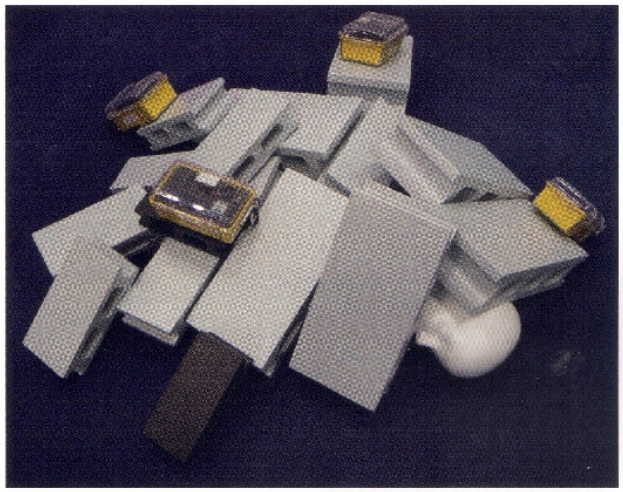


「レスキューレーダーライト」が通知しているところ。音と光で検知した反応を知らせる。

「レスキューレーダーライト」は、被災者が生き埋めになっていそうな場所に設置すると、検知範囲に動きがあった場合に音と光で通知する製品。崩落した建物のガレキの上などに設置し、生き埋めになっている生存者がいた場合に反応を検知できる。生き埋めになっている可能性がある場所に複数個設置することで、反応があった場合に救出活動につなげられる。

人命探査装置

レスキューレーダーライト



「レスキューレーダーライト LS-RRL02」の設置イメージ。ガレキの上に置いておくことで、同品の下で動きがあった場合に通知する。